



げん しょう せき 玄昌石の館



DATA・BOARD 33



- ① 宮城県登米郡登米町寺池中町1番地
- ② 面積41.31㎡
- ③ 木造平屋建て
- ④ 屋根および床材に玄昌石(スレート)

玄昌石の館は、登米町に数多く残された文化遺産や恵まれた自然を生かしながら、伝統ある地場産業の振興を図ることを目的とした「みやぎの明治村づくり」の一環として整備したものである。

建物の急傾斜の屋根にはウロコ状の玄昌石が整然と敷き詰められ、美しい模様を見せている。館内は、登米町の代表的地場産品である玄昌石(天然スレート)の地質学的解説からはじまり、採掘方法の歴史や製品の製造過程、見学者の体験加工コーナーが設置されている。

玄昌石は町の中心部にある駒つなぎの広場や旧水沢県庁舎周辺の歩道やポケットパークなどの公共施設にふんだんに使用されており、まち並み保存整備計画やHOP E計画に賛同した住民の多くも新築や改築の際に玄昌石を用いている。